

令和6年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名 第2回全体会	日 時 令和7年3月26日(水) 10:00 ~ 12:00
	会場 伊那市福祉まちづくりセンター およびオンライン	参加者数 61人
主 テ ー マ	<p>1 協議事項</p> <p>① 令和6年度自立支援協議会活動報告および取り組み管理シートの進捗状況</p> <p>② 県自立支援協議会への圏域課題提出について</p> <p>2 質疑応答</p> <p>3 学習会「親亡き後を考える～強度行動障がい者の地域移行についての取り組み発表～」</p>	
	<p>1 協議事項</p> <p>① 令和6年度自立支援協議会活動報告および取り組み管理シートの進捗状況(資料1、2) 各部会より報告。</p> <p>② 県自立支援協議会への圏域課題提出について(資料3)事務局より報告。 「障がい児のショートステイ先の確保」については事業所の閉鎖により更に深刻な状況となっている。 引き続き圏域内でできることを模索すると同時に、県内外の取り組みや好事例の吸い上げと共有を 依頼していく。</p> <p>2 質疑応答</p> <p>▷「手をつなぐ育成会」では義務教育終了後も参加できる様々な地域活動を行っているが、個人情報保護 法により案内が難しい状況。各市町村窓口や会議の場等で情報提供のご協力をお願いしたい。 ⇒きらりあ内で自立支援協議会メーリングリストを作成している。イベントの案内等、依頼に基づきメーリング リスト登録者に情報共有が可能。また、事務所入り口にチラシ設置など協力できることはさせていただき たい。</p> <p>▷2018年に創設された重度の方も日中支援員がケアしてくれるGHはありますか？ ⇒上伊那圏域内の日中サービス支援型GH「ソーシャルインクルーホーム長野箕輪町」</p> <p>3 学習会「親亡き後を考える～強度行動障がい者の地域移行についての取り組み発表～」 施設から地域移行に至るまでの経緯を相談支援専門員により発表。障害支援区分6で強度行動障害の ある利用者、ご家族、学校、受け入れ先の事業所等、それぞれの想いを組み取ることの難しさや苦悩につ いて報告。また、費用や社会資源不足について、今後求められる地域の在り方について個人的な意見も含め 発表。(個人情報保護法のため発表後は資料回収)</p> <p>【質疑】</p> <p>▷受け入れ先が見つからない利用者のためにもアメリカで認証されているセクレチンという薬を日本でも認 可されるよう働きかけてほしい。症状が落ち着けば受け入れ先も増え、費用も抑えられ、災害時の避難場所 といった限られた環境の中でも課題行動が落ち着くことに繋がる。</p> <p>⇒どこまで働きかけられるか分からないが、協議会を通じて地域で協力し合いながら考えていきたい。</p>	

	<p>▷継続できる支援体制が地域に維持できるのか、人材育成にもかかっていると感じている。行政への働きかけ方や子どもの頃からの予防について伺いたい。</p> <p>⇒行政の方へは支援会議で会えるため、地域移行を進めるにあたり他圏域の前例も含め情報提供を行ってきた。予防に関しては、健診時の早期発見や、適切な環境や対応法を早くに身に付けられることが大切と感じる。</p> <p>▷学校に何か情報提供を求めたのか、もしくはハイリスクがあると判断されている場合は卒後に向け、早期に学校から卒後の事業所へのアプローチはできないのか。ゼロからの事業所探しは非常に不安。在学中の支援会議の中で、もっと早い段階に卒後についての検討してほしいと感じた。</p> <p>⇒卒後に向けた事業所との早めの検討や、支援体制が途切れないためにアドバイザー的な方が伴走するなど、学校から地域へ繋がっていけるような体制作りが大切なポイントに感じている。</p> <p>▷実際に早期に事業所見学や支援会議の参加依頼をしても支給決定が出るまで待つようにと言われてしまった。夏から支給決定の依頼をしてきたが結局2月になり、そこから事業所へアプローチをするも間に合わず3月の卒業と同時に追い出された感があった。支援会議の際に行政も卒後の視点を持って現実的な支援体制を整えてほしい。</p> <p>⇒今のご意見を聞き、改めて卒業後に向けての将来の観点や支援体制を整えていく必要があると感じた。どこも人員不足。併せて人を育てることをしていないと断ち切れてしまう。感想になってしまうが、途切れない支援体制作りと、先を見据えた支援の大切さを実感した。</p> <p>⇒今後も全体会では学習会を開催予定。要望等あれば事務局へ。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の各部会活動内容を共有できた。 ・学習会を通して「強度行動障がい者の地域移行」について、皆で考える機会を持てた。 ・今回出された地域からの声は、来年度の活動の参考とする。
次回	未定